

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

1 学校のミッション

全日制普通科高校として、生徒一人ひとりの高い志に根ざした第一希望の進路実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、国際性の涵養、豊かな人間性や社会性を培い、「高い志を持って国際社会に貢献するグローバル人材の育成」を目指した学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に生徒の学力を高め、学校の特色である国際教育・英語教育・芸術教育を踏まえながら適切な編成を行う。

生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることを目指した不断の授業改善の実施、英語力をはじめ言語能力の向上・コミュニケーション能力の育成等、これからの時代に求められる資質・能力の向上に向けた教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 可能性の拡大と人格の向上を目指して、挑戦する姿勢を身に付ける。
- より高い目標の実現のために、諦めずに努力を積み重ねる人を育成する。
- 日本と他国の歴史・文化・芸術を深く学び、広い教養を身に付けて国際社会で活躍できる人を育成する。
- 寛容の精神を培い、思いやりをもって社会に貢献する姿勢を身に付ける。

3 計画策定時点での課題

- 学校は落ち着いており、生徒は穏やかに学校生活を送り、授業を受ける姿勢は良好である。一方、学習への向き合い方は、主体性に取り組む態度や学習への意欲に欠けている。研究授業、職員研修等により授業改善を進めているが、指導と評価を一体化させて教職員の授業改善を行いながら、生徒自身の学習改善を図る必要がある。
- 生徒は現状維持型が多く、進路実績に課題がある。英語検定準2級取得を目標としているが、その取得率にも課題がある。また、自ら考え判断する能力を発揮する場面が少なく、課題解決能力を養成できていない。4技能英語教育の充実など授業改善による学力向上とともに、生徒自らが課題を発見し解決しようとする能力を育むため、教科横断的な視点に立った探究的な学習を進める必要がある。
- 地域との協働・連携を深め、学校の情報・特色を積極的に発信して、本校への理解を促進し、意欲ある生徒の獲得を更に目指す必要がある。